

土佐塾 猛攻でV

高知工に99―7 花園へ

第96回全国高校ラグビーフットボール大会県予選（県高体連、県ラグビーフットボール協会主催、毎日新聞高知支局後援）の決勝が13日、県立春野総合運動公園球技場（高知市）であった。土佐塾が15トライ12ゴールの猛攻で99―7で高知工を圧倒。5年連続16回目の優勝を決めた。土佐塾は12月27日に東大阪市花園ラグビー場で開幕する全国大会に出場する。組み合わせ抽選会は12月3日に毎日新聞大阪本社オーバルホール（大阪市北区）である。【柴山雄太】



▽決勝
高知工 00000 11007 反5
TGP前 870054 TGP後 750045 反7
土佐塾 反99計 反6

守備に課題残る

土佐塾・西村保久監督 前半のトライは良かったが、後半にゴール前で押し込まれ、守備に課題が残った。また、選手に1時間走る体力が無い。花園までの残り1カ月、鍛えなさいといかない部分は多い。

泥臭く点取れた

高知工・飯田努監督 相手の強さに圧倒された。その中でゴールライン際で粘って泥臭く1トライを挙げ、点が取れたのは良かった。1、2年生も出場したので、この経験を来年につなげていきたい。

経験生かし上へ

高知工・大野広副副主将 大きく点差を広げられたが、この7点は自分たちにとってとても大きい。トライできた時はうれしかった。1年間の成果だと思っ。後輩はこの経験を生かし、少しでも上を目指してほしい。

反則連続見直す

土佐塾・新階彩幸主将 前後半の最後は相手フォワードを抜くことができ、自分たちがやりたいラグビーになった。後半開始直後は、ゴール前で前に出られず押し込まれた。反則を連続したので見直したい。

クから左へ展開し、FB片岡倫選手（3年）が素早くボールを運びインゴールへと飛び込み先制。
続いて2本のトライを挙げ、同14分、自陣10メートル左のラックから右へ展開、パスをつなぎWTB竹嶋大貴

選手（3年）が、相手をかわしながら約60メートルを独走し中央へトライを決めた。

前半を8トライで折り返すと、後半も勢いは衰えなかった。片岡選手は15トライ中、12回でゴールキックを決める精密さを見せた。

高知工は前半、相手に度々陣地を取られる展開だったが、後半4分、敵ゴール前でラックを続け、PR大森悠平選手（2年）がサイドから右中間にトライし、一矢報いた。



「土佐塾―高知」後半24分、土佐塾PR米津がタックルを受けながら左中間へトライ ―高知市で